

「進んで考え 判断し

思いやりと勇気をもって挑戦する」

自他共栄

住所：行方市南327の3

電話：0299-80-8070 / FAX：0299-77-0840

◆ 進級、進学に思う ◆

～不安と緊張こそ成長のきっかけに～

幼稚園や保育所から小学校に行けば「小1プロブレム」、小学校から中学校に入れば「中1ギャップ」、中学校から高校に進学すれば「高1クライシス」。「大1～」、「就職1年目～」という言葉が出てこないことを祈るばかりである。

日本の教育制度には節々に痛みがある。「日本の教育は関節炎にかかっている」という人もいるくらいである。そして、その炎症を鎮めるためにさまざまな工夫がなされている。それらが、うまくいくことで、児童生徒、教師、保護者が幸福になる。過日本校で実施した、小学6年生対象の新入生説明会もその一つといえる。

しかし、物事には限度がある。学校間の接続を滑らかにしすぎてしまうことは、成長のチャンスを逸することにもなりかねないからである。「小学校＝（イコール）中学校」では中学校の存在意義がなくなってしまう。進級や進学には不安や緊張を伴うのは当たり前である。ある程度の不安や緊張があればこそ、それをバネに人はグンと成長するのである。進級、進学をきっかけに生徒の成長を促していきたい。

これから先、就職、結婚、家族の変化、転職、病気、退職、社会の変化等、それまでとは異なる考え方や行動様式が求められる場面が出てくる。そんな時、適切に対応できる力を身に付けさせたいと思う。

【プロブレム (problem)：問題、難問】

【ギャップ (gap)：すき間、欠落、隔たり、不一致】

【クライシス (crisis)：重大局面、難局、重大な分かれ目】

◆ 失敗してもよい。 挑戦する！！ ◆

本年度、みなさんに挑戦することを伝えてきた。挑戦に、失敗は付きものである。失敗や失敗の連続を恐れることなく、挑戦を続けて欲しい。

「私のやった仕事で本当に成功したのは、全体の1パーセントに過ぎない。99パーセントは失敗の連続であった」という本田技研工業創業者の本田宗一郎さんの言葉がある。「失敗は成功（成長）のもと」「七転び八起き」などのことわざもある。失敗を恐れては何もなしえない。失敗があってもこそ、成長し、成功への道が開ける。